

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

平成 21年 4 月 9 日

【評価実施概要】

事業所番号	0173600743
法人名	医療法人社団 廣仁会
事業所名	グループホーム ふるさとおいわけ
所在地	〒059-1931 勇払郡安平町追分中央1番地41 (電話) 0145-26-6111

評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成21年3月30日	評価確定日	平成21年4月9日

【情報提供票より】 (21年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17 年 1 月 15 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	21 人 常勤13人, 非常勤 8 人, 常勤換算 17 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	43,000 円
その他の経費(月額)	光熱費(月額)25,000円 冬季暖房費(10月~3月)5,000円
敷 金	
保証金の有無 (入居一時金含む)	43,000円 有りの場合 償却の有無 <u>有</u> / 無
食材料費	朝食 180 円 昼食 270 円
	夕食 360 円 おやつ 90 円
	または1日当たり 900 円

(4) 利用者の概要 (3 月 30 日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	1 名	要介護 2	7 名
要介護 3	7 名	要介護 4	1 名
要介護 5	2 名	要支援 2	名
年齢	平均 86 歳	最低 69 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三上内科呼吸器科クリニック オイワケデンタルクリニック 千歳皮膚科形成外科クリニック
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設して5年目に入り事業所の基盤も堅固なものになっている。平屋でL字型に建てており、各ユニット間には仕切りがなく、利用者が自由に行き来できる作りとなっている。居間の大きな窓からは線路が見え電車が通過する様子が見える。また、中庭に利用者さんが日曜大工で製作した鳥の巣箱が置いてある。庭の一部が畑で野菜作りや、花を職員と一緒に育てている。いつも利用者本位の意識を大切に、その人らしく誇りのある暮らしを続けることを施設長、管理者、職員が積極的に熱意を持って支援している。施設長、管理者、職員の信頼関係も厚く、職員が一体となって利用者のよりよい暮らしの実現に取り組んでいる事業所である。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の改善課題は、運営推進会議の開催に向けた取り組みに期待したいということであった。その後この評価を受けて、運営推進会議は2ヶ月1度開催されており、参加者からは、意見、要望をいただき、それを事業所のサービスの質の向上に反映させている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員が自己評価に取り組み、その内容を職員間で検証し管理者がまとめている。評価の意義を確認し、日々のサービスを振り返りながら、改善に向けた具体案の検討や見直しに繋げるため、取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。町の介護保険課長、町内会長、民生委員、家族会会長、利用者代表、施設長、管理者が出席し、事業所の活動状況について報告、また、地域住民が安心して暮らせる地域を目指し話し合いを行い、そこでの意見を運営に反映できるように取り組んでいる。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の来訪時には、気軽に意見、要望を言ってもらえるような雰囲気づくりに配慮している。また、利用者の健康状態、金銭収支など詳細に報告されている。面会が少ない利用者には、電話で報告している。毎月、個別に写真入りお便りを発行しており、利用者の日常生活の様子について知らせている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の中での事業所やホームの役割を理解してもらえるように、町内会行事には積極的に参加している。また、地域の2つのボランティアチームが交替でホームに踊りを見せに来てくれるなど、行事での交流を持っている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「まごころ家族のように」を理念に掲げ、地域の中のグループホームを目指し利用者が地域の中で、その人らしく暮らし続ける環境、地域での関係づくりを重視し事業所独自の理念になっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所の理念は、目に付きやすい玄関ホールや、事務室に掲示し意識付けを図ると共に、介護に迷った時には理念に立ち返り、日々のサービスの提供に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の中での事業所や、ホームの役割を理解してもらえるように町内会行事には積極的に参加している。また、地域の2つのボランティアチームが交替で踊りを見せに来てくれるなど交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価に取り組み、その内容を職員間で検証し管理者が集約して自己評価表を作成した。日頃からサービスの質の確保や、更なる向上を目指し職員で話し合っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。町職員、町内会長、民生委員、家族会会長、施設長、管理者が出席。事業所の活動状況など報告し、内容は会議録に記載されている。そこでの意見をサービス向上に反映している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	グループホーム連絡協議会などで情報交換することや連携することが多くあり、施設長を中心に町の担当職員と相談できる良好な関係が築かれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時には、利用者の暮らしぶりや、健康状態、金銭収支など詳細に報告されている。状況により面会の少ない利用者の家族へは電話で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来訪時に、気軽に意見、不満、苦情を言ってもらえるような雰囲気づくりに配慮している。家族を対象としたアンケートを行ない、意見箱の設置もされている。そこでの意見を運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまで職員のユニット間の異動及び離職は少ない。2つのユニット間で職員が日常的に行き来する機会も多く、利用者、職員とも馴染みの関係が出来ている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を始め、月1度の内部研修など積極的に受講できる機会を設けるなど体制を整えている。後日、研修内容を会議で報告し職員間で共有を図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の事業所間での情報交換や、様々な勉強会、相互訪問などを行っており、職員の報告を通してサービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が納得した上でサービスを利用できるように、事前に職員が本人と何度か会ったり、ホーム見学したり、場の雰囲気に馴染めるよう家族と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の関わりの中で、食事の後片付けや、花壇の水やりなど、一人ひとりの出来ることを大切にしながらい出来ない部分を支えている。利用者の昔からの習慣から学ぶことも多く、共に支え合う関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中での会話、動作、表情から本人の希望や意向を受け止めている。本人の希望に応じて、買い物、食事会、ドライブなどの支援をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画はアセスメントを行うと共に、利用者の日々の生活や見守りの中で、本人の意見、家族の要望、職員からの情報を聞き、カンファレンスを行い介護計画に反映させるようにしている。職員間のチームワークがよく活かされている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書に記載されている個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われている。利用者に変化が見られた場合には、本人、家族、職員で話し合い、早急に見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関への通院や、外出など、本人、家族の状況に応じて多機能性を生かした柔軟な支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望する主治医がおり、定期的に通院している。家族が付き添えない場合には、職員が通院介助を行っている。複数の協力医療機関との関係を密に結んでおり、緊急時には適切な医療を受けられるようになっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者、家族の意思を尊重した話し合いは、かかりつけ医を交えて行っているが、事業所の方針がはっきりと定まっていない。	○	重度化や終末期に向けた支援は、今後の事業所の課題であり、また、利用者や家族の関心のひとつでもある。出来るだけ早い段階で話し合いの機会をつくり、関係者全員の意思統一を図って行くことに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は常に利用者の一人ひとりの誇りを大切に、やさしく声かけや、敬意のある対応に配慮している。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの体調に配慮しながら利用者の希望を一番に考え、ペースを乱すことなく、押し付けにならないよう出来るだけ個別性のある支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	機能低下している利用者もおられるが、ご本人の食べる意欲を優先させながら自力でゆっくりと食事ができる支援に努めている。また、食事の後片付けなども職員と共に行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週2回の入浴を行っている。本人が希望する時間や、タイミングに合わせて入浴している。利用者の心身の状況に応じ見守り、介助の支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの思いや、生活歴、身体状況などを念頭に置きながら散歩、買い物、外食など、利用者の意欲や、希望など力量に合わせた楽しみごとの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	夏期は中庭にある畑、花壇の水やり、散歩、買い物など日常的に利用者の希望に合わせて支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関の施錠はせず鍵のない自由な暮らしを大切にしている。玄関にセンサーを設置し外出を察知した場合は、職員が付き添って安全確保に努めている。夜間は安全確保のため施錠している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の避難訓練は、消防署の協力のもと年2回実施している。消防署とのホットラインも設置されている。	○	重度化している利用者もいることから、特に職員の手薄となる夜間帯の災害対策が急務で、地域住民の協力体制に期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量、水分摂取量は細かく把握し、一日の量がわかるように記録されている。また、利用者の健康状態に合わせた食事の提供を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	L字型の平屋の建物で、玄関ホール、居間、居室なども広くゆったりと明るく、利用者が好きな場所で思い思いに過ごせる工夫がされている。台所から、食事の準備の様子、食器の洗う音が聞こえ生活感が感じられる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い居室には、本人の使い慣れた馴染みの家具や仏壇、生活用品が持ち込まれ、安心して過ごせるその人らしい部屋になっている。		

※  は、重点項目。